



## 今月のもくじ

### くららの お知らせ

- ・移転に関するお知らせ
- ・令和3年度の登録更新について
- ・新型コロナウイルス感染症に関する対応（2月22日以降）
- ・くららフェスタの中止とオンライン講演会の開催について

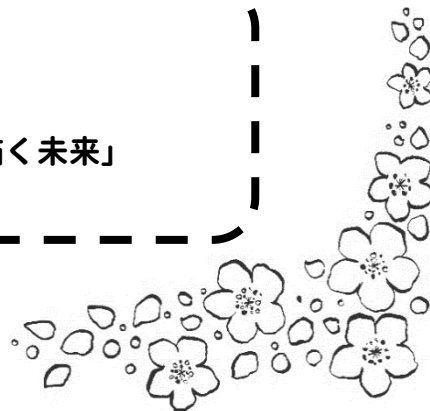


### 登録団体の お知らせ

- 登録 No.258 NPO 法人障がい者の一人暮らしを考える会
- 登録 NO.273 とちぎの雛まつり実行委員会
- 登録 NO.365 NPO 法人とちぎ蔵の街職人塾

### くらら スタッフの ワンコーナー

- 副センター長 なみちゃんコラム  
「寄り添うことの大切さと NPO が描く未来」



## 移転に関するお知らせ

### 【くらは休館の期間】

引っ越し準備のため、3月10日（水）から3月18日（木）まで休館致します。

### 【休館中の部屋の利用について】

3月10日（水）からキョクトウとちぎ蔵の街楽習館（栃木市市民交流センター）の「準備室」と「市民活動室」をご利用いただけます。※ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用が制限される場合があります。

### 【印刷機の利用について】

3月10日（水）～3月31日（水）のうち、休館日の水曜日と引っ越し当日の3月18日以外は印刷機をご利用いただけます。ご利用になりたい場合は、くらはへご連絡ください。

### 【ロッカーの荷物について】

現在のロッカーをお使いの方は、3月16日（火）までに中の荷物をお引き取りください。

## 令和3年度の登録更新について

次の登録番号の団体は、登録更新が必要です。

0001～0216    0313～0335    0371～0396    0427～0454    0474～0509  
0530～0550    0572～0588

- ・3月中にお送りする登録申請書等の書類に必要事項を記入の上、4月末までにくらはにお持ちいただくか、郵送、メール、FAXのいずれかで提出してください。メールの場合、くらのホームページから登録申請書をダウンロードしてお使いください。
- ・ロッカー（1500円/年）とメールボックス（無料）をお使いの団体は、4月末までに更新してください。ロッカー代は、くらの窓口で直接お支払いください。

## 新型コロナウイルス感染症に関する対応（2月22日以降）

### ○予約に関すること

新規予約の受付を開始します。ただし、以下のとおり利用に制限を設けています。

- ・利用は市内在住者のみ
- ・利用人数は、定員の半分以下
- ・利用は（片付けを含め）午後9時まで
- ・利用時の飲食は、水分補給を除き禁止

### ○施設の運営に関すること

- ・平日の開館時間は午前10時から午後9時まで  
※水曜日閉館、日曜日午後5時まで
  - ・相談業務は通常どおり実施
  - ・交流スペースの利用は自粛をお願い致します。  
やむを得ず利用する場合は「予約に関すること」を守ってご利用ください
  - ・印刷機は人数を減らしてご利用ください
  - ・対面での講座やイベント、各種事業は中止します
- ※最新情報はくらのHPでご確認ください。

## くらはフェスタの中止について

今年のくらはフェスタは新型コロナウイルス感染症により開催ができません。ですが、センターの移転という節目を迎え、水害やコロナ禍という経験から、これからの市民活動について考える機会をつくりたいと思い、オンラインでの講演会を開催いたします。

……  
寄り添うことの大切さとNPOが描く未来  
～不登校、妊娠、不安を抱える子ども・若者に寄り添うNPOから～

日時：3月23日（火）18:30～20:30

講師

- ・土橋優平さん（NPO法人キーデザイン）
- ・鳥飼蓬子さん（NPO法人そらいろコアラ）

……  
※参加方法等の詳細は、くらのHPやSNS、館内掲示でご確認ください。



# 登録団体のお知らせ



## NPO 法人障がい者の一人暮らしを考える会 障害福祉と支援の講演会

開催予定日：令和3年11月中  
 場所：とちぎ健康の森 講堂〈予定〉  
 講師：菊地月香氏（社会福祉法人同愛会  
 障害者支援施設光輝舎 施設長）  
 問合せ：とちぎ障害福祉を明るくする実行委員会  
 （NPO 法人障がい者の一人暮らしを  
 考える会内）  
 メール kappal@cc9.ne.jp  
 主催：とちぎ障害福祉を明るくする実行委員会

## NPO 法人とちぎ蔵の街職人塾 家造り無料勉強会

まちなかの設計士と一緒に家造りについて  
 勉強しましょう！  
 日時：3月14日（日）10：00～  
 場所：石本設計（万町13-18）  
 テーマ：断熱材の知識を得よう  
 申込み・問合せ：石本設計  
 TEL 090-8116-1131（石本）  
 主催：NPO 法人とちぎ蔵の街職人塾

## とちぎの雛まつり実行委員会 来たけ～見たけ～食ったけ～あそ雛まつり

期間：3月7日（日）まで  
 場所：山車会館前広場、栃木グランドホテル他  
 ☆期間中通してのイベント  
 ✨園児による塗り絵の展示  
 ✨蔵の街なぞなぞウォークラリー  
 ～クイズに答えて商品ゲット！～  
 その1 蔵の街観光館で解答用紙を手に入れて！  
 その2 解答用紙に答えを書き込んだら蔵の街観光館へ提出！  
 その3 5問以上クイズに答えると景品GET！  
 その4 解答用紙を提出した方の中から抽選で栃木グランドホテル・かな半旅館・小江戸そば好古壺番館で使えるお食事券が当たる！

### ☆週末のイベント

3月6日（土）【集合・会場】山車会館前広場  
 13：00～ ✨流し雛  
 10：00～15：00 ✨おはやし演奏  
 12：30～ ✨くらのまち保育園太鼓演奏  
 13：00～ ✨吹上中学校邦楽部演奏  
 10：00～15：00 ✨からくり人形

3月7日（日）【集合・会場】栃木グランドホテル  
 10：00～12：00 ✨十三参り  
 11：00～16：00 ✨体験教室—あそ雛の館—  
 9：00～16：00 ✨着物であそ雛まつり

詳しくはQRコード

（公式 Facebook）でチェック→

\*新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの内容が変更になる場合もあります。



問合せ：栃木市商店会連合会事務局  
 （栃木商工会議所内）  
 TEL 0282-23-3131  
 主催：とちぎの雛まつり実行委員会

## 寄り添うことの大切さと NPO が描く未来

～不自由さや生きづらさを抱えない、あたたかな社会をみんなの手で～

東日本大震災から早いもので 10 年が経ちました。激しい揺れ、信じがたい映像、停電や断水、信号機が止まった道路、スーパーやコンビニの空っぽな陳列棚、給油のための渋滞など、身の周りで起きたことが今もしっかりと記憶に残っています。

便利なサービスに囲まれて生きてると、私たちの生活がどれだけの手を借りて成り立っているのかということへの、敬意や感謝の気持ちが薄れてしまうとともに、お金さえ払えばサービスが得られるという社会の仕組みに頼れることの気楽さから、身の周りにいる人たちとの信頼を築く必要性を感じられなくなっていたように思います。

この震災は、こうした社会の仕組みが機能しなくなった時、不自由さや生きづらさという不安を誰もが抱える可能性があるという事実と、身の周りにいる人たちとの信頼を築く大切さを教えてくれました。自分たちの手が届かない仕組みに頼るような生き方を見つめ直し、身の周りにいる人たちと手と手を合わせて生きる術を増やしていこうと、価値観を変えていった若者も増えているように思います。

この数年で、栃木市でも大きな水害を 2 度経験しました。一昨年水害では、生活再建の力になりたいと市内外から災害ボランティアセンターを通して延べ 8,700 名（栃木市社会福祉協議会『令和元年東日本台風（台風 19 号）栃木市災害ボランティアセンター活動報告書』）を超える方々が活動してくださり、また、学校として、あるいは自主的に活動する高校生、住民同士や知人同士、被災した人に寄り添いたいと願う人たちの、あたたかな気持ちがたくさん生まれていました。

そして、このコロナ禍。仕事や生活に必要なサービスや環境を享受できない、安心できる人との縁や居場所がないという中で、不自由さや生きづらさを感じている人たちの不安がより深刻になっているように感じます。そうした不安は、子どもたちや若い人たちにも広く及び、不登校、妊娠、子育てなどの切実な相談が増えています。今年 1 月に小山市で起きた事件は、私としてもとても悲しいものでした。この悲しさの理由はなんだろうかとずっと自問しています。そうした不安を抱えている人たちに、何らかのかたちで寄り添いたいと願う人たちもきっと少なくないはずで。

当事者の問題を解決していくために、行政や企業が提供できるサービスを充実させることは大切だと思います。ですが、当事者に寄り添いたいと願う人たちの気持ちを受け止めるとともに、あたたかな人と人との縁を紡ぎ、みんながより幸せに生きていける未来をつくっていくためには、やっぱり NPO や市民活動の存在が大切だとあらためて感じています。

コロナ禍で、身の周りに意識を向けることができる時間と機会が増えた今だからこそ、あたたかな社会をみんなの手でつくろうとする活動を、より広げていける力になりたいと思います。

### とちぎ市民活動推進センターくららとは

ボランティア、NPO、社会貢献活動などの市民活動を推進する拠点です。栃木市をよりよくしようと、さまざまな分野で活動している市民の皆さんの意見交換や交流、情報収集・発信の場として活用されています。

開館時間 月～土 10:00～21:00 日・祝 10:00～17:00

休館日 水曜日・年末年始

〒328-0043 栃木市境町 19 番 3 号駅前庁舎 1 階

TEL 0282-20-7131 FAX 0282-20-7132

E-mail kurara-tochigi@cc9.ne.jp

ホームページ <http://www.kurara-tochigi.org>

HP から情報紙のバックナンバーも閲覧できます。



※くららは、特定非営利活動法人ハイジが指定管理者として栃木市の委託を受けて管理運営しています。